

Q 新法での中心市街地活性化は

A 支援が受けられるよう国・県に要望

橋場清廣 議員

議員 町では、平成14年度に中心市街地活性化計画を策定しました。平成16年度には、町の支援を受け、商工会が中心となりTMOを組織し、地域住民も加わって、消費者のアンケートや声を重要視した「TMO構想」をとりまとめ活動しています。

しかし、中心市街地活性化法が改正され、基本計画は市町村が策定しなければならなくなり、支援対象事業なども変更されています。現在のTMO構想や組織のあり方、また今後の事業の推進について伺います。

ような施策を、国、県に要望していきます。

Q 介護型病床廃止 病院への影響は

議員 平成24年度から介護療養型病床が廃止されることになりましたが、葛巻病院への影響と対応を伺います。

また、第5次病院健全化計画が最終年度を迎えますが、今年度策定する3か年計画の基本的な考えと、策定の時期を伺います。

A 平成24年までに 老健施設に移行

町長 葛巻病院は、介護療養型病床18床を有し、医学的管理のもとに介護サービスを提供してきました。今回の介護療養型病床の廃止

により、国では、新たに「地域ケア整備指針」を策定し、県でも「地域ケア整備構想」を来年度までに策定することになっています。その間における施設や人的基準は、緩和措置や助成措置が講じられる事になっています。

町としては、介護療養型病床が廃止される平成24年までに、葛巻病院の当該病床分は、老健施設へ移行したいと考えており、今後、関係機関の指導や情報の収集に努めます。

葛巻病院の今後の経営については、今年度中に、平成19年度から3年間の中期計画を作成する予定です。

介護病床の転換、診療科目のあり方、患者数の減少に対応した収益の確保などを経営の重点項目とし、累積欠損金の速やかな解消を図る内容にしたいと考えています。



イベントで盛り上がる土曜市

町長 新しい制度では、市町村が総合的なまちづくりの視点から計画を策定し、国の認定を受けることや、中心市街地活性化協議会の設立が必要など条件が厳しくなっており、本町のこれまでの計画やTMO組織では、支援を受けるのは難しい状況です。

しかし、中心市街地の活性化は重要課題なので、その他の補助制度の活用を検討し、これまでの体制を生かして、TMO構想を推進します。

また、今後示される改正法の運用面や、県の対応策などを見極めて、小さな町でも支援が受けられ

Q 中の校庭の管理状況は

A 抜本的解決策は今後の課題

近藤良太郎 議員



体育祭に備えて生徒が協力して石拾いをします

議員 葛巻中学校の校庭は、砂が風で飛散し、石が表面に露出している状況です。クラブ活動などでの生徒の安全面に問題がないのか、また、砂の飛散によって、付近住民へ被害が出ていないのか伺います。

その他の小中学校における、運動場の管理状況を伺います。

教育長 葛巻中学校の運動場は、昭和62年から2年間にわたり約6千万円で整備しました。しかし、運動場は大変風が強く、

整備後、数年でグラウンドの表土が吹き飛ばされ、敷き砂利の一部が表面に露出する状況となりました。

そのため、散水ポンプを整備したり、学校周辺に植樹を行うなどして対策を図ってきました。

また、平成9年には、52万円の事業費で校庭整備工事をを行いました。が、強風に有効な対策とはなっていない。

現在は、野球の練習場に砂を

ストックしておき、随時補修整備をしています。サッカー練習場では、砂利を拾いながら活用しており、生徒の安全面は確保していますが、抜本的な解決には至っていません。

しかし、近年は樹木の成長により、若干ではありますが表土の飛散が少なくなっています。



みんなの努力で思い出に残る体育祭に

また、平成16年度から、試験的に校庭の一部を樹皮舗装しており、今後、この方法の活用も含めて、対策を検討していきます。

その他の小中学校では、強風の影響はありません。

また、ここ数年は、校庭の不備による事故の報告はなく、児童・生徒の安全等に問題はありませ